

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	道水路等維持補修事業			コード	141201	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者	岩垂秀昌
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち			
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備	
		予算科目	道路橋梁総務管理費ノ道水路維持補修費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり	
		根拠法令	道路法・河川法・道路交通法			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	道水路利用者の安全確保のために、道水路の構造物等を良好な状態に維持するよう、破損箇所の補修を迅速に行う。		
目的	対象者	市民	
	意図	円滑な道路交通を確保して市民生活の安定を図る	
5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>(1) 通常のパトロールのほかに、毎月3回、6班編成で道路の定期パトロールを実施した。</p> <p>(2) 河川のパトロールを11月に4班編成で41河川の点検した。</p> <p>(3) パトロールや市民通報に基づき、道水路施設の破損箇所について79箇所の維持補修工事を実施し、道路清掃、土砂浚渫、測量設計、草刈、伐採、等8件の委託業務を実施した。</p> <p>(4) 側溝、水路、河川の堆積土砂除去65㎡を除去した。</p> <p>(5) 常温プラントで常温舗装合材を102㎡を練り直営舗装を実施した。</p> <p>(6) 冬期道路管理では、塩カルを述べ130回散布し部分除雪や雪捨て場の整地を実施した。直営による滑り止め砂袋、塩カルの配布を実施した。</p> <p>(7) 安全施設等修繕では、道路反射鏡、道路照明灯等の維持修繕27件を実施した。</p> <p>(8) 計画的予防的修繕として122号線（中尾団地1号線）他4路線舗装維持工事A=6,603㎡を舗装修繕した。</p>		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急修繕箇所、危険箇所を優先して施工してきている。 ・巡視、点検及び点検などに基づく維持補修が適正な維持管理になげられるよう見える化に取り組んできている。 		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 直接事業費	271,498,735	274,327,903	197,988,180	703,201,000	
経常経費	164,398,735	124,293,305	197,988,180	634,201,000	
臨時的経費	107,100,000	150,034,598		69,000,000	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	29,600,000	25,600,000	28,000,000	28,000,000	
正規職員の数（人）	3.70	3.20	3.50	3.50	
③ 合計コスト（①+②）	301,098,735	299,927,903	225,988,180	731,201,000	
前年度比		99.6%	75.3%	323.6%	
財源					
一般財源	129,195,735	165,012,643	225,988,180	731,201,000	
内訳					
特定財源	171,903,000	134,915,260			
* 特定財源の説明					
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	<p>(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急度等を見極め工事を施工しているが、年々維持修繕工事が増加している。 ・道路構造物では、道路照明灯の電気の負担が増加してきている。 ・維持修繕工事を施工するための財源確保をする必要が有る。 ・適切な維持管理を行うための人材確保が急務となっている。 ・維持修繕記録などの管理や記録の保存が求められてきている
	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的予防的修繕について、1級市道、2級市道に主体を置き、修繕計画、維持修繕体制を整備し、路線ごとに計画を策定し交付金や事業債を活用し修繕工事を計画的に行う。 ・道路照明灯では、電気料や維持経費などの負担を調査し補助金の活用を検討する。(LED化に関する補助金制度など) ・職員の研修、講習会への積極的な参加をする。 ・諸様式に定められた管理や記録の保存に着手する
改善方法	
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	--	---